
活動目標

《1》支えあえる地域づくり

〈住民の声〉

(1) 安心して暮らせる地域

- ①一人暮らしで病気や生活の不安が付きない。相談相手がいらない、相談先がわからない。
- ②高齢化により、老々介護が増えている。
- ③足腰が悪く、ゴミ出しにも困っている。外出時の介助に困っている。

(2) 地域の助け合い支え合い

- ④社協や行政に頼るのではなく、住民同士の助け合いや協力が必要である。
- ⑤地域住民が高齢化しており、活動力が乏しい。
- ⑥障がい者や子供、声を発せない弱者の方々への目配りや気配りに力を注いでほしい。

(3) 見守り活動の充実

- ⑦定期的に安否確認を兼ねて戸別訪問してほしい。一人暮らしで他人と話すことがない日が多い。
- ⑧小学生の登下校の見守りを地域ですべてしてくれて助かっている。

■取り組み方法

少子高齢化が進み、地域の維持さえ困難なところが増えてきている中で、生活への不安を持たれている方がたくさんおられます。

子供から高齢者、障がいのある人等、誰もが気軽に頼みごとができるよう、住民参加の福祉活動の意識を高め、地区社協や福祉委員活動を中心とした支えあえる地域づくりを展開します。

〈取り組みの内容〉

(1) 安心して暮らせる地域

- ①日常生活に不安を持っている人たちに対する、相談体制づくりを進める。
- ②誰もが福祉制度や福祉サービスを気軽に利用できるよう、地域で利用支援の仕組みを作る。
- ③支援を必要としている人の情報を地域で把握する。

(2) 地域の助け合い支え合い

- ④年齢や障がいの有無等を超えた、地域の助け合い支え合いの意識を高める。
- ⑤年齢や障がいの有無等を超えた、近隣の支え合いの仕組みを作る。
- ⑥障がい者や子供、声を発せない弱者の方々との交流の機会を増やす。

(3) 見守り活動の充実

- ⑦地域で声かけや安否確認等の見守り活動ができる仕組みを作る。
- ⑧子どもの見守り活動を広げていく。

